町政を問う















児童・生徒への支援に努力する適応指導教室に通えない

なく、既存の学校教育みを目標にするのでは登校するという結果の 支援については学校に省は元年10月の通知で、移している。文部科学 途をたどり になじめない児童生徒 と 全国的に 不登校児童生徒 高水準で活場に増加の

などを充実させた。 ま 相談員による家庭訪問

努力を重ねていく 支援が行き届くように

長期欠席児童生徒

導、オンライン授業や学校派遣による別室指

児童・生徒に対しても 応指導教室に通えない

適応指導教室指導員の 確保の方針に基づき、 徒の多様な教育機会の

は、国の

教育委員会で

の支援シ

を作成

国の不登校児童生

ようにした。今後も適画、実績を評価できるてチェックし、支援計し、学校が年間を通じ

ど、さまざまな関係機やコールでの受け入れなり習支援、フリースや不登校特例をフリースは、教育支援 教育長 とを求めている。町の自立への支援を行うこ 関などを活用し社会的 対応について伺う。

5%台と国や都より の不登校出現率が4 町では中学校

と対応は。

伸ばして

ている社会経済的課題 現時点で発生し

町長 どの団体も活動

た。また、ボランティち上げた町内会が現れし、ホームページを立している。しか

適応指導教室「いぶき」

一般質問とは?

町で行なっている事業の現況や将来の方針に関して、 町長や教育長に問題点を質問したり、政策を提言した りします。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活 に関わる事項など多岐にわたります。

なお、今定例会では、「みずほまる」を応援するた め、胸と襟下にイメージをあしらった特製ポロシャツ を着用し、本会議に臨みました。



申請手続きが円滑にできるように

る

今後、

特別障害者手当について

大坪

国広

議員

(日本共産党)

ば支給される。しかし、ができ、要件を満たせをである。また、要介度でも申請ができ、要件を満たせができ、要件を満たせい。 の介護が必要な状態に があり 方 問 45 名です 極的に働きかけるべき方への周知・申請を積 と思うが。 在宅の要介護の がき 加配備撤回を求める でき こんな質問もありました

日常生活で常時、

里い障がいがあこの手当は、

今後よ™でいては、 動きかけについては、 動きかけについては、 重要であり、態にある在宅高齢者への働きかけが

の確保を求めていく。 質否を唱える立場に 賛否を唱える立場に

百 議員(自民誠和会) まちづくりを

アフターコロナを見据えた

町長 デジタルトランスフォーメーションが

森

る、もしくはそれとい障がいが重複して

を伺う。 1

の手当受給者数は。

に支援を継続 に対する周知 にできるよう を含め、申請 にできるよう。 が円滑

申請要件と現在

申請要件は、

重

くの方が知り得ず、受この公的制度自体を多

給漏れも多い

町長の所見がい。次の点

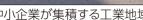
について、

なって

いる。手当を受

同等の疾病のある方と

は、3年7月末現在で給されている方の人数



期総合計画に沿ってまら新たに策定された長 での策定作業であったナについて未知の段階しかし、アフターコロものと認識している。 ちづくりを進めていく 計画推進 間次 ①の 4 ると考える。そこで、には柔軟性が求められ 点を町長に伺う。

町長 生産人口の減少、 地域経済の縮小が進行 している。対策として フォーメーションが重 要な手段と考えている。 向は。2

少傾向。 運輸業の売り上げが減 町長 飲食業・理容業、 農業が売り上げを 卸売業、 製造

そこで、 ディア活動の状況と対問3 自治会・ボラン 応は

の対応は。 町長 新たな通信媒体

を進めたい。を活用した活動の展開

中小企業が集積する工業地域

13 ギカイのひろば Vol.230 ギカイのひろば Vol.230 12